

## 本校の役割

本校は国立大学法人千葉大学教育学部の目的に沿い、附属学校として次の役割を追求します。

- (1) 教育学部の教員及び学生とともに実践的研究を行う。
- (2) 教育の実践的研究を推進し、その成果の公開・発信に努める。
- (3) 教育実習を充実し、有為な教員の養成を推進する。
- (4) 研究・研修・交流等を通して、教員の資質向上と人材育成に努める。
- (5) 県内や地域における特別支援教育の推進に努める。

## 本校の特色

本校の教育目標は、児童生徒一人ひとりが、仲間とともに活動する中で、個性を存分に発揮し、目当てと見通しをもちながら、自立的に生活できるようになることです。

そのために本校では以下のような特色のある教育活動を行っています。

- 1 小学部では生活単元学習、遊びの指導、日常生活の指導を、中学部では生活単元学習と作業学習を、高等部では作業学習をそれぞれ教育課程の中心に据えて学校生活を整え、児童生徒の充実した学校生活の実現に努めています。
- 2 児童生徒が、一定期間、一定のテーマをもって、できる限り自分自身の力で主体的に生活できるようにしています。「運動会」「ふよう祭」などの、学校全体で取り組む生活単元学習は、児童生徒会の役員会が中心となって企画・運営します。児童生徒会の各委員会や学級が、それらの準備等の活動に取り組み、児童生徒が中心となって学校生活を進めています。
- 3 卒業後、働く活動を中心とした社会生活に確実につながるよう、働く活動を学校生活に大きく位置づけるとともに、社会とかかわる生活を大切にしています。教育活動を地域の社会にも求め、中学部と高等部では、企業や施設などにおける現場実習を積極的に実施しています。

## 大切にしていること

- 子どもたち一人ひとりが自分から、自分で、目当てと見通しをもって精一杯、活動する、子ども主体の学校生活
- 職員と子どもがともに活動し「感じ合い、わかり合い、支え合い」ながら満足感・成就感を分かち合える学校生活



子どもたちが今日に満足し、明日を楽しみに待つ学校生活